

計算書類に対する注記

1重要な会計方法

1) 棚卸し資産の評価基準及び評価方法について

商品 総平均法による減価償却基準を採用している

2) 固定資産減価償却について

固定資産の減価償却は実施していない

ただし使用不可能な物、売却した物に対しては除却損、売却損を計上

3) 資産の範囲について

資産の範囲には現金、預金、仮払金を含めている

なお前期末及び当期末残高は下記に記載する通りである

2基本財産の増減額及びその残高は次の通りである

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
合計	20,000,000	0	0	20,000,000

3次期繰越金収支差額の内容は次のとおりである

科目	前期末残高	当期末残高
現金 預金	2,220,051	1,654,930
仮払金	0	16,825
前払費用	0	55,000
合計	2,220,051	1,726,755
未払金	0	9,819
預り金	0	0
合計	0	9,819
次期繰越金収支差額	2,220,051	1,716,936